

# アフターコロナを見据えたサステナビリティ関連セミナーを開催

福岡財務支局では、「アフターコロナ時代に求められるサステナビリティと金融の役割」をテーマに、地方公共団体・金融機関・企業等を対象としたオンラインセミナーを実施。

## 概要

- 長引くコロナ禍により、持続可能な社会の創出に注目が集まる中、アフターコロナにおける地域経済の活性化にはサステナビリティの要素が不可欠となりつつある。
- 福岡財務支局は、日々の業務で経済団体、金融機関、公的機関等と意見交換を行う中で、SDGs/ESGについて何から始めればいいのか分からないといった地域の声を聴取。
- 地域経済活性化に向けた機運醸成を図りつつ、SDGs/ESGの取組のきっかけや重要性について気付きを与えることを目的として、関係機関と連携してセミナーを企画。

## セミナーのプログラム

1. 主催者挨拶  
福岡財務支局長 谷口 眞司
2. 九州産学官金一体でSDGs/ESGに取組むべき理由  
九州経済連合会 グリーン担当部長 久保 文一 氏
3. SDGs/ESG地域金融に関する取組みについて  
西日本シティ銀行 執行役員 営業企画部長 今林 功 氏
4. 地域経済・社会のサステナビリティに向けたFFGの取組み  
福岡銀行 執行役員 産業金融部長 藤善 匡 氏
5. 九州地域のカーボンニュートラル推進に向けて  
九州経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官 森永 峰次 氏

## 取組の成果

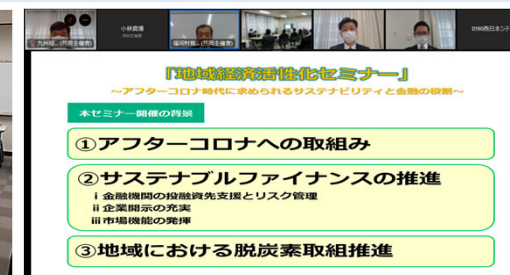
- セミナーには、福岡、佐賀、長崎の地方公共団体、金融機関、企業等から約80名が参加。
- 各講師から、SDGs/ESGの分野における九州地域の立ち位置や課題、各界における取組等について説明。組織としてどう向き合うべきか、何から取り組めばいいのかなど、参加者にSDGs/ESGの取組のきっかけや重要性を付与。

## 参加者の声

- ・金融機関事例、企業の具体的事例、国の潮流、九州の位置付け、各種制度の見識が深まった。
- ・SDGsと金融のつながりを確認することができた。
- ・SDGs関連の補助金等の全体感が理解できた。



【配信会場の様子】



【セミナーの様様】



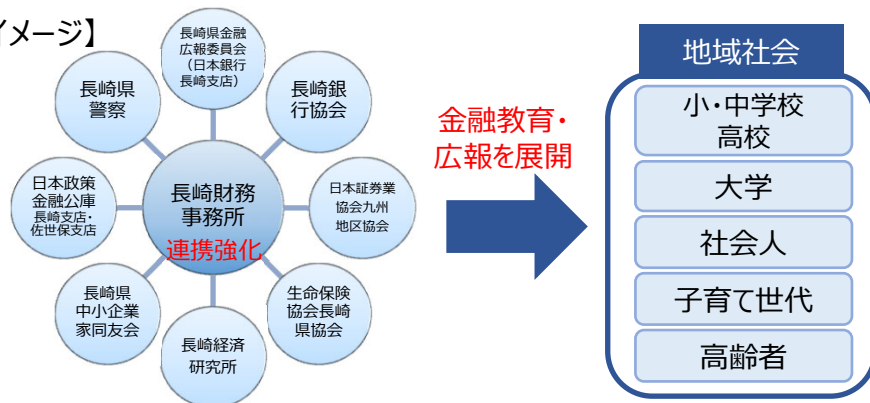
# 地域の関係機関と連携した金融リテラシー向上に向けた取組

長崎財務事務所は、県民の金融リテラシーの向上に向け、地域の関係機関との連携を強化し、各機関の強みを活かした金融教育・広報を幅広く地域へ展開。

## 概要

- 長崎県は、金融広報中央委員会が実施した金融リテラシー調査(2019年)で、金融知識・判断力を問う問題の正答率が全国で43番目と低い。
- 長崎財務事務所は、長崎県内の金融リテラシー向上を図るため、関係機関と意見交換を実施。意見交換を行う中で、金融教育・広報を広く展開するために関係機関へ連携を呼び掛けた。
- 学校や地域住民の方などのそれぞれのニーズに対して、最適な関係機関と連携し、効果的に金融教育・広報を展開。

### 【取組イメージ】



## 取組の成果

### 長崎財務事務所と関係機関の主な連携実績

#### 【日本政策金融公庫・長崎県中小企業家同友会】

飲食店経営を題材に金融のしくみとキャッシュレス決済に関するアクティブラーニング型授業(大学生向け)

#### 【長崎県警察】

金融トラブル・ニセ電話詐欺に関する講義(大学生向け)

#### 【長崎銀行協会】

生活設計・マネープランゲームの教材提供(高校生向け)

#### 【長崎経済研究所】

「金融リテラシー」や「金融犯罪被害防止」に関する意識調査(一般の方を対象としたアンケート)

- 関係機関との連携強化により、多岐にわたる内容の金融教育・広報を地域へ提供することができた。

- 金融教育・広報に限らず、これらのネットワークを活用した地域の課題解決に今後も取り組む方針。



【大学でのアクティブラーニング型授業】